

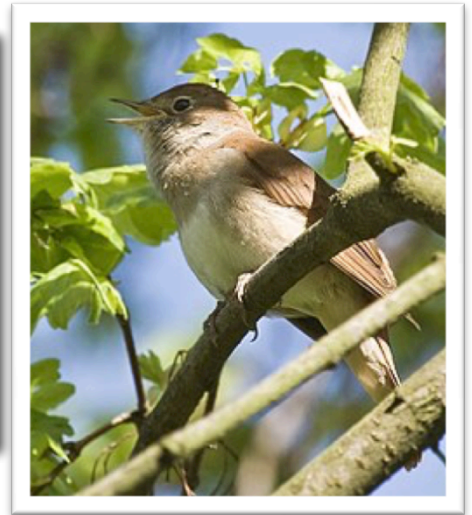
子どもの囲碁教室だより

84号 2023年10月

編集 成田 滋 shigerunarita@gmail.com

ブログ <https://naritas.jp/wp1/>

八王子囲碁連盟 <https://hachigoren.com>



◆ 10月の子どもの囲碁教室の日程

- ・ 第三小学校：10月3日、10日、17日、24日、31日
毎週火曜日 2時30分～ 四階 算数教室
- ・ 第四小学校：10月2日、16日、23日、30日
毎週月曜日 1時30分～ 二階 ひらめき教室
- ・ 第十小学校：10月6日、20日、27日 2時30分～
毎週金曜日 一階 家庭科室
- ・ 大和田小学校：10月4日、11日、18日、25日
毎週水曜日 午後2時30分 二階 図書室

◆ ウクライナ民謡『また秋が来て』

ウクライナの戦場の映像を見て、心が痛むのが爆撃や砲撃で裸になった木々や森です。ここには多くの鳥が巣を作り、子育てをしていたはずですが、今は無残な姿が広がり、一羽の鳥も見かけません。いったいどこへ飛び去ったのでしょうか。爆風でやられた木々の根っこは大丈夫でしょうか。そうであれば、戦が終わったとき、また緑溢れる自然に戻るはずですが、そして鳥も戻ってくるはずですが。

『また秋が来て』というウクライナ民謡の歌詞には、『夜鶯』が出てきます。別名ヨナキウグイス(夜鳴鶯)とも呼ばれています。夜鶯とは、英語名で『ナイティンゲール(nightingale)』。ナイティンゲールは、森林や藪の中に生息し、夕暮れ後や夜明け前によく透る声で鳴くといわれます。夏が過ぎ、秋がやってくるとナイティンゲールはウクライナからアフリカ南部に渡り越冬するのです。しかし、今やナイティンゲールは、秋を待たずどこかに追いやられています。『また秋が来て』の歌詞です。

また秋が…

遠い南へとまた
鳥たちはウクライナから飛び去っていく
高く渦を巻いて
はるかな旅路を行く

夜鶯の歌が消えた

流れていた空から
夜鶯の歌流れるウクライナは
その歌もなしに
どうやって暮らしていくのだろうか？

夜鶯と聞きますと、ロシアが2014年に一方的に併合したクリミア半島と、そこを舞台とした戦争が想起されます。1853年にクリミア半島などを舞台として繰り広げられたクリミア戦争です。この戦争は、南下を凶ったロシアに対し、これを阻止しようとして、オスマン帝国と同盟を結ぶイギリスやフランスがクリミア半島に出兵して参戦した戦です。

この戦争に従軍したのが、イギリス人看護婦フローレンス・ナイティンゲール(Florence Nightingale)らです。彼女らはイスタンブール(Istanbul)対岸の野戦病院で国籍を超えて傷病兵の看護にあたり、兵舎病院の衛生改善に努力したといわれます。後に、専門教育を施した看護婦の養成の必要性を説き、1860年ロンドンに「ナイティンゲール看護学校」(Nightingale Training School)を創設します。

一人の看護婦と一羽の鳥の名前が奇しくも同じであるのは偶然なのでしょうか。夜鶯が来年ウクライナに戻ってきたとき、林や森はどんな姿で彼らを迎えるのでしょうか。

◆ 子どもが参加できる囲碁の集まりと大会

【子どもと大人の囲碁の集い】

日時：10月21日(土) 午後1時～5時
場所：大和田市民センター 和室1 2階
五目並べ、石取りゲーム、対局を楽しめます。
無料です。子どもにはお土産を用意します。

【第73回八王子市民文化祭囲碁大会】

日時：11月3日(祝日) 午前9時～4時
場所：東浅川保健福祉センター
会費：子ども 300円

19路盤での試合です。

申込み：

- 1 八王子囲碁連盟サイトのフォームから
- 2 八王子囲碁連盟 池田正三宛
メール (nqd47851@nifty.com)

住所、氏名、年齢、段級位を申し込む